

新年初刊の時事新報

明年一月一日初刊の時事新報は四十面以上の大新聞を發行し且つ當日添へて頒布する

の調査書師中々々々々の聲ある淺井忠氏の揮毫に成れる帝國軍艦富士、八嶋の圖にして

遊々たる海上二艦の高く日章旗を掲げ相闘相衛んで進行する處、威風凛然海國人士の理想を表現して遺憾なし圖面は縦一尺五寸横二尺十餘度摺りの精巧美觀なる着色石版畫なり而して月極めの購

讀者よは之を無料進呈し當日限り購讀の需に對しては本紙附録合せて金十錢申受く

時事新報の市内配達

時事新報は過般世界最良の完成印刷大器械を措付けし以來その配達最も迅速にして市内最も遠き處も當日未明中に配達を了らざるは無之候然るに毎日發行の時事新報は十二面乃至十六面の大新聞なるを以て普通の新聞受函にては十分、中に落付かず外より引出し易きために近來往々紛失するものと有之讀者の不便本社遺憾此上なき次第にて特年初刊の時事新報の如きは四十面以上の大新聞の外に一犬附録をも添ふるものとせば時事新報讀者は平素より其配達受函を完全にし紛失の虞れなき十分注意相成度候

社説

海軍豫備員

軍艦の製造と共に乗組員を養成す可きは勿論なれども豫備員を養成するに於ては豫備艦に編入するの必要あるが故に常に全艦隊に要する人員を養成が如きは海軍經濟の許さざる所且つ一たび現役に去て豫備艦に入るものは疾病その他の故の爲め戰時の召集に應ずるに能はざるもの頗る多き例にして外國の經驗に據れば軍艦乗組員の數は兎角平均を得ざるものなる其上に戰時には自から死傷を生ずるを免かれずとすれば正式の乗組員の外に更に商船の士官水夫并に海軍の心得ある一般沿海の人民を以て一種の豫備員を編成し平素に海軍的の訓練を施して豫備艦の補充は勿論海軍防衛等の任務に使用するも陸軍補充兵の如くならしむ可む但し陸軍ならば國民軍を召集するも僅々の訓練にて用を爲せざる海軍は自から然るを得ず豫備員特別の制を設くるの必要なる所以なり日清戰争中民間より借用したる御用船に監督將校を始めとして砲兵信砲兵等を配架せしめたるが如き畢竟商船に海軍的の素養なかりしが爲めにして本來軍艦の補助たる可き商船が却て有用の人員を海軍より奪ひたるは常例に反對の奇觀を現はしたるものと云ふ可し歐米の海軍國に於ては戰時充の準備として何れも海軍豫備員の法を定めて商船の士官水夫を始めとし海上の業に従事する船夫漁民を募集して豫備員名簿に登録し一但し英國は志願主義にして大陸諸國は強制主義を用ふ一昨年春の朝鮮開戦時豫備員名簿に登録し海軍に就て訓練せしめられたる海軍士官等約一萬名に及り又豫備員名簿に登録し一定の服役年限を

終りたる上は恩給をも受くるの例なる中にも此制度の最も完備したるは佛國にして凡に海軍登録法を制定し沿海地方に居住して漁業又は航業に従事するものは十八歳より海軍名簿に登録して五十五歳まで其籍に在らしむるものと爲し満二十歳に至れば召集に應じ最寄の鎮守府に於て一定の訓練を受けしむる其服役期限は七箇年なれども實際軍艦に乗組んで勤務に服するは三年半位に過ぎずして其餘は豫備に編入せられて隨意に自營の業に従事するを得べし而して此種の豫備員は以上の義務を負担する其報酬として政府より種々の特典を受くる其個別は漁業航業に就ての特許を有し、或種の租税を免除せられ、他の公役に服するの義務なく、旅行には舟車等の特別割引を得、五十五歳に至り服役満期を爲れば一定の恩給を受け、軍艦商船の間はず勤務十二年半に及ぶものは特に養老金を給せられ又その兒童は海軍孤兒院もしくは海軍幼年水兵學校に公費入學を得る等その他、一にして足らず現に同國にて該名簿に登録せられたる海員は凡そ十三萬五千人、其中四萬人は何時にても軍艦及び海岸防禦の任務に堪へべき訓練屈強のものにして此一點に於ては流石の英國も企て及ばずとして羨む所なりと云ふ今我國にては海員の技術免狀を有して西洋形船舶の船長、運轉手、機關手たるもの及び水夫火夫の數を合算すれば八千餘人の多きあり其他和船、解船、漁船、小艇、遊船等(凡そ六十萬隻)の船頭舟子の數も非常の數なる其上に漁業者のみにても全國にて二百萬以上なりと云へば適當の方法を以て海軍的訓練を施さんには有爲の豫備員を得るゝと容易なる可し其方法は佛國の例に倣ひ海軍登録法を制定し各鎮守府にては管内沿海の住民より海軍の心得ある壯丁を搜括して豫備員名簿に登録し最初は相當の期限間所管の軍艦もしくは海軍團に於て成る可く實地訓練を主として一通りの訓練を施し爾後毎年召集して復習せしむるものと爲し豫備員巡洋艦の乗組員、留學、燈臺、水難救濟所等の看守には必ず其謀を用ひ又必要の場合には軍艦の乗組員に補充するも無論なり(英國にて豫備員巡洋艦の乗組員の半數は成る可く海軍豫備員を以て充つるの規則なり)又商船の士官水夫にも年々適當の海軍的訓練を施して海軍豫備員として尉官下士官相當の地位を與へ商船學校水産學校の卒業生にも同じく豫備員の資格を得せしめ又海軍の豫備員名簿に在る將卒をば成る可く外航の商船に乗組ましめ海上の習慣を失はざらしむると同時に其船内の海軍的訓練の事に當らしむるが如き以方の便利なる可し豫備員名簿の編製を始め服役年限、年次召集、徵兵免除、恩給、遺族扶助等の事は海軍登録法中に總て規定す可きものと勿論として其詳細は當局者に一任し期して沿岸の住民悉く海兵たるが如き組織を爲さんよと我輩の希望する所なり

宮内御歌所の短冊

此頃宮中御歌所より宮内省御用通事京都寺町御池下ル吉田富春亭へ注文ありしは御形瀧引にて上等十枚六圓五十錢中等四圓五十錢並一圓五十錢位の品物なりと右は多分新年御歌所に用ひらるるものなりと云ふ

汽船の競争

熱山より伊勢紀伊の各港を経て大阪に至る航路は専ら名古屋の日本共立汽船會社にて營業し居るものなるが同社は前年神戶汽船會社と競争の末遂に合併したるものにして今に至るまで内部の折衝其甚だ面白からず今度同社重役中の二名は紀州の船主と詰らひ日本共立汽船會社に對し大に競争するものと云ふ此種より既に開業したるを以て紀州各港に乗り乗客運賃は是迄に比して半額に低減されたるよし尙ほ共立汽船會社に於ても反對船出帆の節は特に自社の汽船三隻を仕立て大に競争し居るよしなり

ニラ反徒の敗走

支那ガゼットのニラ特報に據ればリオス將軍に屬する西班牙軍は去る十八九日の頃マニラの北なるメカナン地方に割據する凡そ四千の反徒を攻撃せしに敵は暫時應戦せるのみにして直に山中に退きたれば双方共に死傷少なく唯反徒の數名が官軍の擧げ擧げに倒れしを見たるのみ而して匪徒が彼の地方に出沒せるものは敢て官軍に抗せんとの目的に非ずカヴァイト地方に駐屯する西班牙軍の意を轉せしめ味方を取れんとする案制運動なる可しと云ふ

老愛國者

トローター 原著 歐陽應雲石の譯 是よりして後吾等の作戦計畫は頗る單純なるものと云ふなり今只指折接へて伯林の陥落を待ち罷ふるのみ老佐が餘りの待遠しさに心焦立ち堪へ難き候思はるゝ毎に少女は戰場なる父より送越せしめて手紙を讀み開かせて慰めぬ言ふ迄もなく此手紙は故らに拵へられたる偽手紙なり抑も巴里城外の交通全く杜絶したるが上にセマンの敗軍の如かたマクマオン軍の將校等は皆日耳曼の兵營に牽かれたる今日此頃何とて音信すべき便あるべきぞ惘れ痛しきは少女の心根なり其はしき父上は定めし停居となり給ひて幾そ許その娘を重ね給ふらんぞ乾く間もなき涙をば笑顏に隠し父上よりの手紙を讀み候と喜ばしげなる面を見せまんとす開かす其有様察して見給へかし其手紙といへるは戰場より送り越せしものと見するものから文音も最と簡約になしありぬ日々戦場の功名手柄を重ぬる遺記しあるのみ斯くある内に少女も流石に流れて數日の間手紙を讀み聞かせざるもありしに老人は心安からず夜も眠れず(眠に就き得ず)し左の折には忍び手紙を少女は例の如く涙押包みて笑まじげに讀み聞かせぬ老人は耳かたむけて少女の讀み聞かす手紙を聴取り中に記せる戰場の經過に就て或は賞賛し或は非難し時に老人の心に余等に解し難しと思ふ節は應るに説明なし呉れぬ殊更余の感動を惹起せしは老人が其手に讀みて少女に口授して譯めさせし返論にぞある其文中に曰く 言ふ迄もなき次第ながら其時は已れ佛蘭西國人たるをば夢々打忘れ問敷候懼れしむる亡國の民は務めて勢はり遣はし餘りに遠慮の苦も受けさせ聞敷候其其も斯候 斯くて文中には最と細々と數限りなき訓戒を記しあり人民の財産に對する處置、貴女に對する作法など誠に一片の短信にして職勝者の守るべき軍事上の規律を講羅し遊せりと爲るる許なり老人は更に政治上の意見をも見を無難(無難)に讀ませしむべき情和の條件なき

に就ての ばれぬ其 構和の 士を割 耳曼の 思候 其文言は 國の赤心 するもの 既にして 攻撃の伯 痛、饑饉 の苦は 出づれ 等兩人が 不自由 新鮮の肉 したもの 罪なき 心も動か 床なる老 には孫な 々々しく せなき介 ば室内の 雪窓を撲 往年余破 度と思ひ 馬肉の だよ 事サ事 簡月前よ のどては 斯くて老 左れども 加へぬ五 屈免の利 如し既に 二三次に 伯林城下 なりと言 斯くて或 させしが ちを認め アノ兵 どのやかり だぞ 其日はそ 其日の用